

# 市長と語ろう地域懇談会 記録

【日時】平成29年11月13日（月）午後6時30分～8時25分

【会場】山部福祉センター

【対象地域】山部

【出席者】37人

【記録者】向山

担当部	意見・要望などの要旨	回答の要旨
総務部	公共交通の体系が変化し、地域住民のJR利用は減少しているが、外国人の利用が増えているし、フラノラベンダーエクスプレスやノロッコ号の利用者も多い。市民の移動手段の確保のため存続に向けて取り組んでほしい。	【副市長】意見として受け止める。
総務部	数年前にフェリー火災が発生し、フェリーで物資が輸送できなくなる状況があり、輸送手段が無くなるということは富良野地域の農産物の輸送にとって非常に困ることである。乗客が利用することも大切なことであるが、JRの貨物輸送の観点からも存続に向けて取り組んでほしい。	【市長】山部地域で住民運動としてJRを利用していると新聞で報じられたが、こうした取り組みが存続させるための1つのアピールになっていく。JRを利用する人が減少していく状況において、JR北海道では不採算路線はバスに転換する方針を示しており、どのようにしたらJRに乗ってもらえるのかをみなさんとともに考えていくため、懇談会などで意見を伺っている。しかし、鉄路を存続していくためには費用がかかり、現在根室本線だけでも年間約20億程度の赤字があることから、JR北海道が維持できないということになれば、その費用は7市町村で負担していくことになる。観光客が多く利用するのは10月くらいまでで徐々に利用者数が減っていくため、市民のみなさんには年に1～2回はJRを利用していただきたい。利用については根室本線対策協議会でも検討しているが、JR北海道は駅を維持することも厳しい状況であり、山部駅や布部駅の維持管理を行政や住民が負担しなければならない状況にもなってしまうことから、国にその費用を負担してもらえるように、住民のみなさんとともに存続に向けて運動していく必要がある。今後もみなさんからJRの存続や利用促進に向けた意見や知恵を募っていきたい。

<p>総務部</p>	<p>J R北海道ばかりがクローズアップされているようだが、J R貨物に関する情報はあか。</p>	<p>【市長】貨物輸送に関しては、ホクレンや中央会などの農業団体の動きがあまり見えてこない状況ではあるが、今後はこれらの団体に加えて、商工会や商工会議所、全道市長会、全道町村会が連携して貨物輸送を含めた中で運動を展開していかなければならないと考えている。全道市長会や全道町村会をはじめ、北海道を含めた中でJ R北海道と話し合いを進めているが、これからは北海道を中心として国に対しても支援を求めていく状況づくりが必要であるとする。そのためには、少なくとも地域で何もしていないと国から言われぬように鉄路の存続に向けた取り組みが必要であり、1人でも多くJ Rを利用していただきたい。行政においても札幌出張の際には公用車ではなく、J Rを利用するよう取り組んでいる。さらに、5月には道内選出の国会議員30人に対しても要請活動を実施しているが、道民全体の盛り上がりが必要であり、地域懇談会の会場で出た署名活動に取り組むべきという提案もいただいているので、そのような運動展開も考えていきたい。</p>
<p>総務部</p>	<p>40年前は通学する際の列車が3両編成だったが、今は1両編成となり、少子化の影響もあり高校生はあまりJ Rを利用していない感じがする。もっと利用してもらえよう、利用時間やどんな人たちが利用しているのか調査するとともに、少しでも学生の利用が増えるよう行政や学校で呼びかけてほしい。下宿などを行っている学生などもいるので、そうした学生の思いを踏まえて取り組んでほしい。</p>	<p>【副市長】意見として受け止める。</p>
<p>総務部</p>	<p>市長は公務以外でJ Rを利用しているのでしょうか。J Rの利用促進にはダイヤが関係していると思うが、市長はJ Rの利用増がど</p>	<p>【市長】旭川に行くときにはJ Rを利用している。しかし、公務の場合は時間的な制約があるため公用車を利用している。富良野</p>

	<p>うしたら果たせると思っているのか。午前7時6分山部駅発のJRに乗って富良野駅まで通勤し、午後7時6分富良野駅発のJRで山部に帰ってきているが、勤務終了後も待たされるのは大変である。もう少し利用者に配慮したダイヤにしていだけるようJR北海道に訴えてほしい。高校生も午前7時6分山部駅発に乗ると、午前7時20分富良野駅着となるが、滝川行きが午前7時39分発で20分くらい遅くなれば、朝ゆっくりできるので、利用しやすくなると思う。本数が変わらないのであれば、発着時刻に配慮していただけるようJRに働きかけてほしい。</p>	<p>地域は特に夏は多くの外国人観光客がJRを利用しているので、言葉は通じなくても交流することができるため、そういった観点からもJRを利用することは非常に良いことと考えている。ダイヤに関する要望は、過去に旭川の高校に通っている学生が不便を感じていることから、旭川駅発の最終便を美瑛止まりから富良野駅まで運行してほしいとJR北海道に要望したこともあるが、ダイヤ改正も含めた住民の要望も合わせてJR北海道に話していきたい。</p>
<p>総務部</p>	<p>富良野駅発が午後7時6分なので、高校生は地域懇談会に参加できないが、ダイヤ改正は高校生の意見を聞くのが一番良いと思う。また、JRの利便性を促す意味でポップブリッジと富良野駅をつなげて、スーツケースを持った観光客のためにエレベーターを設置してはどうか。予算的に難しいようであれば、ボランティアや地域おこし協力隊などを配置して、荷物運びをするサービスを行ってはどうか。また、根室線の新得～富良野間に美味しいものを食べて走るお座敷列車を走らせることも良いと思う。</p>	<p>【市長】富良野駅には、エレベーターよりエスカレーターの方が良いと考えている。特に外国の方は荷物の数が多く、エレベーターでは運べない状況である。6月には富良野駅のトイレを改修しており、エスカレーターであれば市でもできないことはないと考えているので、意見として受け止めたい。また、ボランティアの配置については、現在、観光協会と相談している。根室本線の沿線自治体では、赤平市が炭鉱、芦別市がカナディアンワールドなどの観光資源の活用を検討していると聞いている。過去に富良野でも根室本線で300人くらい乗せたお座敷列車が走っていた記憶があり、そうしたアイデアも含めJR北海道に話していきたい。</p>
<p>総務部</p>	<p>運転免許証を返納された人にはJR乗車券の割引が受けられるようにしてほしい。また、60歳以上の方がJR回数券を利用した場合にプラス1枚配布することも検討して欲しい。</p>	<p>【副市長】意見として受け止める。</p>
<p>総務部</p>	<p>観光や貨物輸送、学生にとっても鉄道存続に向けて、特に根室本線は何とかしなければいけないと思うが、自分自身が何をしたら</p>	<p>【市長】根室本線対策協議会の会長を担っているが、1つの自治体だけが頑張っても難しい課題だと考えている。現在、JR北海</p>

	<p>良いのか分からない。市としてどのような方向で考えているのか知りたい。</p>	<p>道から見直しされている 10 路線 13 線区において、各路線で話し合いが行われており、根室本線においては各市町村の担当者レベルで話し合った中間報告が協議会に示されたが、この内容を各市町村の住民に提示した中で、住民個々の意思がどうなのか把握しながら、協議していかなければならない。各市町村の総合的な考え方がまとまった段階になるまでは、市としての現段階での見解については発言を控えたい。</p>
<p>総務部</p>	<p>山部地区総合振興協議会の役員会で防災について会議を開催した。昨年 8 月の水害で山部の住民が避難したが、その後、市から報告や対策、反省などが一切なかった。市として災害に対する意識が薄いところがあるのではないか。山部地域には自主防災組織があるものの機能していないし、指針がなく組織として何をしたら良いのか分からない。地域としては、市が実施したアンケート結果も知らされていないし、これから考えるとの回答だったので、行政としてある程度の指針を示してほしい。実際に避難した立場の人にしてみれば、喫緊の課題と考えている。自分たちでできることは実践していきたい。</p>	<p>【総務部長】設立された自主防災組織の役割などについては、地域に出向いて説明させていただきたい。また、市としてはアンケート結果を踏まえ、情報伝達やサイレンの吹鳴などに課題があったということ把握し、さらに職員の初動体制の見直しを行っている。災害で何よりも大切なことは、日ごろからの住民一人ひとりの災害に対する意識であり、今後もさまざまな形で災害における話し合いの機会を設けていきたい。</p> <p>【市長】行政から住民に対して情報の伝達や指示すること、災害の予防に関しては、市の災害発生時の職員初動マニュアルなどを作成しており、市としても積極的に防災・減災に取り組んでいきたい。</p>
<p>総務部</p>	<p>市庁舎改築について、例えば市庁舎と文化会館を 1 つにして、その建物内にイベント広場を設けてはどうか。また、敷地内には保健センターもあるので、市民が利用しやすいように駐車場を充実させてほしい。スポーツセンターについてもスポーツ選手の育成や健康増進などの観点などから、将来的には改築が必要だと思う。</p>	<p>【総務部長】平成 25 年から市庁舎改築のための基金を創設して積立を開始しており、昨年 4 月にあった熊本地震後に国は今年から庁舎に対する起債措置を実施することとなった。目標としては平成 31 年度までに計画の骨格を作成するために、懇談会においてみなさんの意見を聞きながら進めていきたいと考えているので、貴重な意見として受け止める。</p>
<p>総務部</p>	<p>電子申告（L T A X、eL T A X）が普及してきているが、過去</p>	<p>【総務部長】電子申告については後日担当部署から連絡する。</p>

	<p>のデータ参照ができないなど、システムが使いづらい部分があるので、できれば改善してほしい。マイナンバーカードも利用できるのであれば利用したい。</p>	
<p>経済部</p>	<p>フラノ・コンシェルジュ整備事業の2階のシェアオフィスにコミュニティFMを置いてほしい。建物内に観光客も来ることから、出演してもらおうなど、生の声を放送したら面白いと思う。</p>	<p>【経済部長】2階は商工会議所や市役所の一部部署などが入る予定のため、コミュニティFMは4階に入るという構想をまちづくり会社において検討している。</p>
<p>市民生活部</p>	<p>山部地域のごみ分別説明会には多くの住民が参加し、分別に対して真剣に考えている。プラスチック類の扱いを丁寧に説明してくれたと感じる。</p>	<p>【市民生活部長】以前は汚れたプラスチック類を固形燃料ごみに入れるように指導していたが、今後は各地域で開催した説明会でお話ししたとおり、汚れたプラスチック類は可能な限り水で軽く汚れを落として、プラスチック類のごみ袋に入れていただきたい。今後も固形燃料ごみを資源ごみとして活用していくためにも、ごみの分別に協力をお願いしたい。また、もっと説明を聞きたい方は個別の説明も実施しているので、必要な場合は環境課にご連絡ください。</p>
<p>総務部</p>	<p>昨年の懇談会で発言したが、バスとJRのダイヤの重複について、その後の進捗状況があれば教えてほしい。</p>	<p>【市長】バス会社と協議したが、運行ルートや時間を変えるためには運輸局を中心とした地域公共交通会議で協議しなければならない。JRとバスの運行時刻が重複している理由は、JR・バスがそれぞれの利用者の利便性を考慮しているため、両方の交通を乗り継いで利用していないという観点で時刻を決めている。引き続きバス会社に対しては働きかけていきたい。</p>
<p>経済部</p>	<p>パラリンピックが開催されるので、これを機に車いすユーザーに優しいまちづくりを進め合宿を誘致し、さらにフラノ・コンシェルジュ整備事業でも取り入れてほしい。</p>	<p>【経済部長】フラノ・コンシェルジュ整備事業は、既存ビルを改修して進めているため、どこまでできるか分からないが、できるだけ考慮して進めていきたい。</p>